2026年～2027年度会報　　Aug　24,　2026　No. 5

CREATE LASTING IMPACT

高岡北ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH ROTARY CLUB

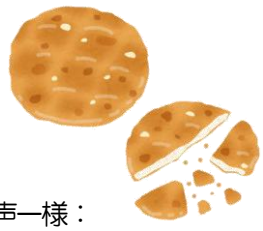


例会日・毎週月曜日　12:30～13:30
例会場・ホテルニューオータニ高岡

創　立・1980 年 5 月 19 日
認　証・1980 年 6 月 12 日
国内創立順位・1489

会　長　長澤　貴士
幹　事　上田　正宙
公共イメージ委員長　村牧　啓功

第 2016 回　例会　8 月　17 日（月）



◇点　　鐘
◇国歌斉唱
◇ソ ン グ　　“四つのテスト”
◇ゲスト並びにビジターの紹介
ゲスト：富山第 4 グループガバナー補佐　川合　声一様
◇会長挨拶並びに報告
　皆さんこんにちは。まずは川合声一様、本日はよろしくお願いします。お盆前に熊本では地震、お盆中は関東で豪雨災害と、日本列島いろいろ災害続きでした。お盆休みの間、高岡でも一時的な大雨などがありました。いつも村牧会員からラインで火事の通知が来て、この間は砺波の住所だったのですが、見るとうちの住所でした。2 回目です。雷が落ちてエアコンの基盤やパソコンがダメになりました。通知を見たとき、またうちの住所がらみだなと、災害続きです。皆さんもいつどこで何が起こるかわからないので、充分気を付けてください。
◇幹事報告
1）本日例会終了後、「桐西の間」にてガバナー補佐とのクラブアッセンブリーを開催し、終了後に 8 月定例理事会を開催いたします。
2）次週 8 月 24 日（月）は、ガバナー公式訪問です。
3）回覧：①2027-2028 年度　派遣交換学生募集要項
②第 10 期 RLI パート I のご案内
③ガバナー月信 NO.2
④会報 NO.2、3、4
⑤8/28（金）暑気祓い夜間例会の出欠確認表
⑥9/18（金）高岡万葉 RC との合同ゴルフ大会の出欠確認表
⑦9/18（金）高岡万葉 RC との合同懇親例会の出欠確認表
⑧10/17～18 開催「地区大会」出席確認表
◇委員会報告
＊魚住公共イメージ副委員長より、ロータリーの友 8 月号の紹介

◇ニコニコ BOX 報告
富山第 4 グループガバナー補佐　川合声一様：
　ガバナー補佐訪問に参りました。
長澤会長：川合様、本日卓話よろしくお願い致します。
八塚昌俊君：川合様、卓話よろしくお願いします。
魚住晃一君：川合ガバナー補佐、本日はよろしくお願いします。
【今年度ニコ BOX 累計額　50,000 円】
◇8 月在籍表彰
魚住　晃一君（１５年）
◇8 月結婚記念日お祝い
海下　巧君（8 日 30 年）　片岡　長司君（24 日 17 年）
◇8 月誕生日祝い
木村由希子君（１１日）　村牧　啓功君（１７日）
片岡　長司君（２４日）　早川　　勇君（３１日）
◇出席報告　　出席者　18 名　メイクアップ済　0 名

会員数	本日の出席率	7/27 例会 修正出席率
28 名	81.82　％	63.16　％

＝　8月定例理事会の報告　＝

1．幸塚栄三会員に関する事項について・・・承認
2．第 33 回高岡市民美術展にかかる法人寄託賞のお願いについて・・・承認
・寄付金額は 1 万円で高岡市民美術展初日にプレゼンターとして会長の登壇を要請。
・3 年前より行い、初年度は高岡ロータリークラブ賞、昨年は高岡西ロータリークラブ賞を授与。
3．その他・・・承認
・熊本震災義援金のお願い→1 人当たり 3,000 円（10/23 迄）
【確認事項】
1．万葉まつり協賛金について（〆切 8/21 迄）
・高岡地区 4RC で例年行っている万葉まつり協賛金（1 万円）を拠出する。

◇本日のプログラム（担当：幹事）

「ガバナー補佐訪問『富山県西部の絆～加賀藩領と小矢部川・鉄道が結ぶ未来～』」

富山第４グループ　ガバナー補佐　川合　声一　様

2026-27 次年度 地区ガバナー補佐として

富山県西部氷見・高岡・小矢部・南砺（第４グループ）

７つのクラブを繋ぐ架け橋へ

自己紹介

ロータリー活動歴

● ロータリー歴 22 年（2004 年入会）

● 南砺ロータリークラブ会長（2020～21 年）

● 地区インターアクト委員長（2010～15 年頃）

台湾研修、オーストラリア研修参加（ケントハースト）

父：昭和３年生まれ

（砺波ロータリークラブからスタート）

弟：富山ロータリークラブ所属

業界団体歴（職業奉仕）

南砺市観光協会 → 五箇山NANTO 観光機構

南砺市商工会 / ３期（９年目）

富山県米菓工業協同組合 理事長

富山県食品産業協会/富山県輸出促進協議会

本日のテーマ

なぜ、私たちはこんなにも「話が通じる」のか？

〇歴史の絆：旧加賀藩領

１６００年 ～ 明治途中

約２６０年間にわたる共通の歴史

同じお殿様（前田家）のもとで呼吸



〇地政学的な一体感

かつての行政区画

「礪波郡（となみぐん）」

地理的にも、暮らしの面でも常に一つにまとまっていた地域

〇富山県「西部」の独自性

県西部（私たち）

加賀藩（本家･百万石の直轄地）



〇地理の絆：小矢部川水系

山から平野、そして海へ

南砺･小矢部･高岡･氷見をダイレクトに繋ぐ大動脈

〇壮大な物流のネットワーク

伏木港から「北前船」が出港（氷見の港とも連携）

日本海を北上し、遥か「北海道」へ

ニシンや昆布がこの地へ運ばれた

〇経済の発展と社交文化（川すじ文化）

・川沿いの物資集積地で衣食住に関する産業文化が発展

・旦那衆が集う料亭街

食文化･・花街文化の形成

ロータリーの集いの原点

〇豊かな食文化：どじょう

加賀藩領に根付く伝統スタミナ食「どじょうの蒲焼き」

金沢から富山西部へと広まった文化

〇発酵食品と北前船の恵み

北海道から届いたニシンを保存

西部の発酵文化と融合した珍味

「ニシンの麹漬け」※小矢部の名物郷土料理

〇海の恵みと内陸の麹の融合

冬の最高のご馳走「かぶら寿し」

氷見の寒ブリ × 内陸の豊かな麹文化

小矢部川が結んだ、西部の一体感

〇富山県西部の食文化を彩る郷土料理

昆布締め・とろろ昆布おにぎり・はとむぎ茶、氷見うどん・報恩講料理「いとこ煮」・よごし・赤ずいきの酢の物

〇言葉の境界線クイズ

Q.お米でできたサクサクのあのお菓子何と呼びますか？

A.「かきやま」

県東部では「あられ」「おかき」

加賀藩領（県西部）だけで通じる共通語（＝方言）



〇言葉の絆：川合柿山

・俳号 川合柿山（しざん）として活動し、近代俳句の巨匠 高浜虚子とも交流

「立山の 柿山の味 鮴（ごり）の味」作：高浜虚子

〇魂の絆：伝統の「獅子舞」



加賀獅子の流れを汲む

勇壮華麗なダイナミズム

お祭りに懸ける県西部市民の熱きソウル

〇鉄道の絆：城端線･氷見線（鉄の絆）

富山県西部を南北に縦断する線路

地域産業と人々の暮らしを支えた近代化のシンボル

〇私たちは「一つの家族」

共通の絆具体的な中身

歴 史：旧加賀藩領 ・ 西礪波郡

風 土：小矢部川流域 ・ 北前船 ・ 城端線、氷見線

文 化（食文化）：かぶら寿司 ･ニシンの麹漬け･

かきやま ・ 獅子舞

〇響働の精神で共に歩みましょう

次の輝かしい世代へと繋ぐために。（新しい伝統の創造）